

# 自立活動だより

平成27年11月発行①

11月の自立活動だより①は、中学部の取組について紹介します。

今年度の中学部は、知的障害学級（以下、1ブロック）に52名、肢体不自由学級（以下、2ブロック）に6名（訪問生1名含む）の生徒が在籍しています。

今回は、1ブロックの自立活動の取組（時間における指導）の一部を紹介します。

## 【1ブロック】

1ブロックでは、毎日2限目を個別学習と自立活動の「時間における指導」として設定しています。指導の形態は、個別指導または指導目標を達成する上で効果的と考えられる小集団（2～3人）となっています。

今回は、個別指導での取組を紹介します。

### 《中学部3年生1名》（心理的な安定、身体の動き）

集団生活の経験が少なく、学校生活により適応することを目的に取り組んでいます。自分でできることや楽しめることを増やすことで、安心できる環境を増やしていきます。

<ねらい>

- ・生活経験や人とのかかわりを広げ、集団生活を楽しむことができる。
- ・日常生活の中で、自分でできることを増やす。

<取組内容>

#### ①「自分でやろう！」

つまむ、まわす、ひっぱる等の日常生活動作を多く取り入れています。好きな物と関連付けることで、動作に意味を持たせることが大切です。



#### ②「経験しよう！」

火曜日の朝、学校周辺を歩いています。学校以外の場所でもしっかり活動できる経験を積み上げます。時にはあぜ道を歩いてみると様々な道にチャレンジしています。



#### ③「学校を楽しもう！」

自立活動室2を活用し、様々な揺れ遊具を楽しんでいます。自分から「やりたい」と強く意思表示する場面が多く見られ、この時間をとても楽しみにしています。奥野先生（抽出指導担当）との関係も深まっています。



自立活動の「時間における指導」では、般化（普段の生活の中でも力を発揮できる）の視点を持ちながら、指導を進めていくことが大切です。





## 《中学部3年生1名》（心理的な安定、人間関係の形成）

苦手な友達を拒否する気持ちが強く、その気持ちを長く引きずってしまう生徒に対して取り組んでいます。「嫌だ」という気持ちや不安な気持ちをため込んでしまいがちなので、しっかりと自分の気持ちを伝えられるようになることが大切です。

<ねらい>

- ・自分の気持ちを伝えることで情緒の安定を図る。
- ・頑なに嫌だと思っている気持ちを緩め、安定した気持ちで生活することができる。

<取組内容>

### ステップ①「どんな気持ち？」



「うれしい」や「かなしい」といった感情語の理解を深めます。絵カードで具体的な場面をイメージしながら、整理することができました。

### ステップ②「気持ちを伝えよう」



友達をダンスに誘いたい時、イヤなことをされた時など、場面に合わせた気持ちの伝え方を勉強します。カードを操作することで考えやすくなり、日常生活の中でも言えることが増えてきました。

### ステップ③「絵本作り」



「いやだいやだ」(せなけいこ作・絵)の絵本を参考にして、自分の気持ちを絵本にしました。いやな思い出にも好きな絵本作りを通してしっかりと向き合うことができます。「断ってもいいんだ」と分かってもらうことが大切です。「すきだすきだ」の絵本も同じように作ります。



### ステップ④「友達のいいところ探し」



友達の「すてき」と「きになる」ところを考え、整理しました。苦手な友達のすてきなどにもたくさん気付くことができました。

ここで紹介した取組はほんの一部です。日頃の取組内容で、何をねらいとしているのかなと疑問に感じたことはありませんか？そんな時は遠慮せずに担任に聞いてくださいね。

